

### ③創業・起業、新事業開拓、成長支援

## 「とうほう・次世代創業支援ファンド」創設

(東邦銀行)

#### 【概要】

平成25年8月に取扱開始した「とうほう・次世代創業支援ファンド」(出資総額10億円)による成長マネーの提供を通して、創業期・成長期にある事業者の財務強化や事業拡大等を支援。

#### 背景と経緯

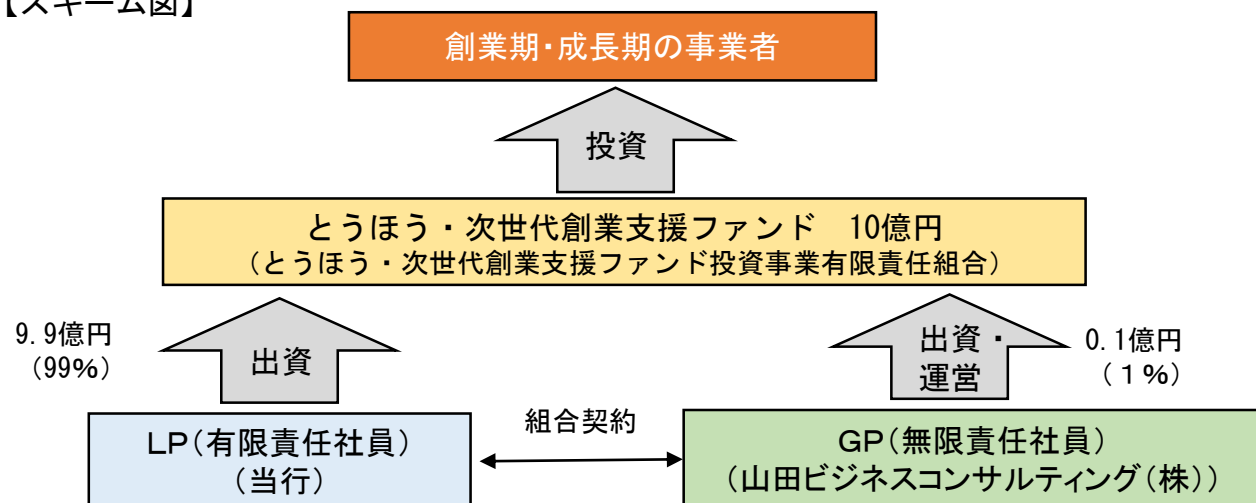
福島県では、地震・津波に加え、原子力発電所の事故により、多くの「雇用の場」が喪失したため、将来の県内経済活性化・雇用創出を担う企業の育成・成長が極めて重要な課題である。

東邦銀行では、これらの企業の育成・成長を全面的にサポートするため、中長期的な視点に立ったインキュベーション機能の更なる拡充が必要と判断。「次世代経営者等が取り組む事業」、「成長分野関連企業」、「ベンチャー企業」、「新たな事業展開を目指す事業者」及び「地域の発展に欠かせない事業に取り組む事業者」等を対象として、成長マネーの提供、経営課題解決のための経営サポートの実施により、お客様の財務強化や資金繰りの円滑化、及び事業拡大等に貢献し、地域経済活性化に取り組むこととした。

#### 具体的な取組

平成25年8月に投資事業有限責任組合契約に基づき、「とうほう・次世代創業支援ファンド(通称：とうほう・アーリーステージサポートファンド)」を総額10億円(当行：9億9千万円)にて創設した。運営期間は10年で、案件受付期間は5年。投資手法は株式引受と社債引受とし、投資決定および運営管理にかかるGP業務を山田ビジネスコンサルティング(株)が行い、投資決定の迅速化ならびに機動的な運用を図っている。

#### 【スキーム図】



## 取組の成果

創設から現在（平成27年12月末）までの投資実績累計は、13先に5.85億円となっている。

投資先としては、各種サービス業やIT関連の他、成長分野である再生可能エネルギーや農業関連、医療・介護関連など、県内外の幅広い業種の事業者を支援している。大学発ベンチャーやロボット関連産業も含まれており、大手企業に技術力を認められ、本ファンドから既にEXITした企業も生まれている。

支援の対象となる事業者の個々の調達ニーズに迅速に対応し、普通株だけでなく、種類株や社債等による柔軟な投資手法が高く評価され、投資実績に結びついている。

### 【投資実績】

| 投資先業種       | 投資先数 | 投資金額   |
|-------------|------|--------|
| サービス業       | 3先   | 110百万円 |
| IT関連        | 3先   | 90百万円  |
| 再生可能エネルギー関連 | 2先   | 150百万円 |
| アグリ関連       | 2先   | 100百万円 |
| 医療・介護機器関連   | 2先   | 75百万円  |
| 小売業         | 1先   | 60百万円  |
| 計           | 13先  | 585百万円 |

## 今後の課題

地方創生における地域活性化等の施策展開に対するファンド活用の期待度は高いことから、今後は、新産業分野（医療機器関連、ロボット関連、再生可能エネルギー関連）や航空・宇宙関連産業、若手・シニア層、大学発ベンチャー、観光活性化など、投資先をより幅広く取り組んでいく必要がある。

また、既存投資先については、更なる成長・発展に向けて、当行の「経営課題提案型営業」を生かした育成支援、ならびに、IPO支援にも取り組んでいく必要がある。



### Point | 支援実施のポイント／横展開にあたっての示唆

#### 支援実施のポイント①

営業店及び本部、GPが一体となった投資案件の発掘

#### 支援実施のポイント②

普通株だけでなく、種類株や社債など事業者の調達ニーズに柔軟に対応